

## 【件名】「まちだ自慢推進計画 17-20」の策定について

市では、2012年度に策定した「まちだシティプロモーション基本方針」に基づき、2013年度に定めた『「まちだ自慢」推進計画』における短期目標の最終年度である今年度、2017年度～2020年度の活動計画としての「まちだ自慢推進計画 17-20」を策定します。

この計画を市民と行政が共有し、実行することにより、「住み続けたいまち」「訪れたいまち」として多くの人に選ばれるまちを目指します。

### ＜策定の意図＞

最終目標である市民の「愛着」や「誇り」、市外の人からの「憧れ」は、すぐに高まるものではありません。長期的な視点の戦略を立て、活動を積み重ねることによって、徐々に育まれます。今回策定する「まちだ自慢推進計画 17-20」を基に、中期目標の達成に向けて、「オールまちだ」で町田の魅力創造・発信活動を推進します。

	短期目標 2014年度～2016年度	中期目標 2017年度～2020年度	長期目標 2021年度～
> 市民	魅力の発見・再認識 市民発の情報発信強化	まちだへの愛着向上 おもてなし精神醸成	市民としての誇り・ 住み続けたい意欲向上
> 市外の人	まちだへの関心喚起 まちだへの来訪促進	繰り返し来訪促進 まちだファン化	まちだへの憧れ醸成 定住促進

### ＜策定の考え方＞

- シティプロモーションを効果的に推進するためには、市民、事業者、団体、行政が連携し、「オールまちだ」でまちだの魅力創造・発信活動を推進していく必要があります。シティプロモーション活動への参加をイメージできるよう、新たに市民、事業者、団体の属性別に活動例を記載し、市民参加の裾野を広げた取り組みを推進します。
- 来訪促進及び定住促進を目的に市内外に向けて、都心部や周辺地域へのアクセスに優れ、利便性の高い中心市街地と、自然あふれる郊外が共存した町田の魅力の情報発信に取り組んできました。本計画期間においては、全国的に少子高齢化が進行するなか、世代間バランスを保つために、子育て・暮らしに関する魅力創造・発信を新たな活動計画として展開します。

＜策定にあたり＞

町田市内の各種団体などから構成される「まちだシティプロモーション推進委員会」や庁内組織で構成する「推進本部会」「作業部会」を設置し、2014年度～2016年度の3年間の活動の振返りを行うなど、検討を重ねたほか、シティプロモーションについてのインターネット調査や、市内で学ぶ学生や、メインターゲットである町田で子育てをしている子育て層へのヒアリングを行った結果を参考に、策定しました。

## 推進戦略1 皆が主役になるオールまちだの魅力創造と発信

### 【1-1】市民が主役となる魅力創造・発信

2018年2月に市制60周年を迎える町田市では、2018年度からの3ヵ年において、市民が主役となり、地域ごとに魅力を創造し、発信していく活動を推進していきます。この事業の担い手を募集し、まちだ自慢サポーターと一緒に情報発信やイベントに参加する等、参加者の裾野を広げた活動を展開していきます。

### 【1-2】シティプロモーション推進委員会の強化

シティプロモーションの活動に関係する団体から構成されるシティプロモーション推進委員会が、まちだ自慢の実行主体となれるよう、委員の役割や構成を見直すことにより、情報発信力の強化を行い、各団体が担い手となった新たな魅力創造や情報発信の推進を加速化させていきます。

### 【1-3】新たな市民協働の推進

観光案内ボランティアの拡充、地区の魅力創造を加速する市民協働の推進、子どもの「まちづくり」への参画など、市民の愛着や誇りを育むため、情報発信活動やイベントに、より多くの市民の方が関わるような取り組みを展開します。

## 推進戦略2 「訪れるまち」「住むまち」「育むまち」としてのイメージ強化

### 【2-1】地域資源への来訪促進に関する魅力創造・発信

鉄道や道路など、都心部や周辺地域へのアクセスに優れた地理的な利点があり、利便性の高い中心市街地と、自然溢れる郊外が共存した町田の魅力の情報発信を行います。

### 【2-2】子育て・暮らしに関する魅力創造・発信

子育てしやすいまち、教育環境が充実したまちという魅力を、子育てファミリー層を中心に戦略的に情報発信をすることで、市民には誇りを持ってもらい住み続けてもらうこと、市外の方には憧れを醸成し、転入を促進します。

### 【2-3】文化・スポーツに関する魅力創造・発信

スポーツチームや、アスリートと連携した取り組みの機会を更に増やしていくとともに、市の魅力のひとつとして情報発信を強化し、スポーツのまちというイメージの浸透を図ります。また、市外からの来訪目的ともなる文化・芸術に関する魅力を戦略的に情報発信していくことで、文化・芸術が盛んなまちとしてのイメージを確立していきます。

## 推進戦略3 市民の誇りにつながる話題性あるイベントを開催

市民が主体となり、市の多彩な魅力を創造・発信するような、市民協働型のイベントを開催し、愛着や誇りを育みます。マスメディアに取材されるような企画とすることで、参加した市民が誇りを感じるようなものとします。また、本計画期間には、市制60周年ほか、子ども達に夢を与える国際大会が開催されるため、これらを契機にした事業などを行う予定です。